

静岡県食肉センター（仮称）新築他工事実施設計技術協力業務委託  
公募型プロポーザル技術提案書等評価要領

1 技術提案書等評価要領の位置付け

本要領は、静岡県食肉センター（仮称）新築他工事実施設計技術協力業務委託（以下、「本業務」という。）の受託者を選定するにあたり、「静岡県食肉センター（仮称）新築他工事実施設計技術協力業務委託公募型プロポーザル業務説明書」などの関係書類を基本としたうえで、実績、技術提案書、概算工事費見積書、VE提案書の内容やヒアリング等による評価点の算出方法を示すものである。

2 配点

評価項目			配点	
(1) 実績評価	代表企業実績	工事实績	過去 10 年間の同種・類似工事の実績	4.0
		技術協力業務実績	過去 10 年間の業務の実績	2.0
	ISO の認証取得		ISO の認証取得状況	2.0
	管理技術者実績	工事实績	過去 10 年間の同種・類似工事の実績	4.0
		技術協力業務実績	過去 10 年間の業務の実績	2.0
	小計①			14.0
(2) 技術提案評価	実施設計段階の実施方針に関する提案		業務実施方針、業務体制	8.0
	コストコントロールに関する提案		コスト増加を抑制できるコストコントロール方法	8.0
	品質確保に関する提案	内部結露の防止など衛生管理された作業環境実現のための提案		4.0
		食肉の品質を確保するために、施設内のコールドチェーン構築に関する提案		4.0
		その他自由提案（2項目まで）		8.0
	長寿命化、維持管理に関する提案	建築及びプラント設備等 <sup>※1</sup> の長寿命化への配慮に関する提案		4.0
		建築及びプラント設備等 <sup>※1</sup> の維持管理コストの低減に関する提案		4.0
	単年度工事の分割方法に関する提案		建築及びプラント設備等 <sup>※1</sup> の年度毎の工事を考慮した分割方法の提案	4.0
	施工計画、安全対策に関する提案	設備の切り回し工事等の施工時における埋設配管等の破損防止への配慮		4.0
		工事中の食肉センターの操業の継続に有効な仮設計画や安全対策等への配慮		4.0
	周辺環境への配慮に関する提案		工事施工中の周辺に与える影響を緩和する提案	4.0
小計②			56.0	
(3) 価格評価③		VE提案採用後概算工事費を評価する。	30.0	
配点合計（①+②+③）			100.0	

※1 プラント設備等とは、電気設備、機械設備、冷凍冷蔵設備及びプラント設備をいう。

### 3 実績評価

#### (1) 代表企業実績

##### a 工事实績

過去 10 年間の同種・類似工事の実績を下表により評価し、得点を算出する。

評価項目	評価基準	得点	配点
過去 10 年間の同種・類似工事の実績	同種工事の実績がある	4.0 点	4.0 点
	類似工事の実績がある	2.0 点	
	上記以外	0.0 点	

(a) 同種工事とは、次の要件（延床面積、用途、工事種別）を全て満たす工事

- ・延床面積：1 棟当たり 6,200 m<sup>2</sup>以上（既存部分は含まない。）
- ・用途：建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）第 51 条に基づくと畜場
- ・工事種別：新築又は増築

(b) 類似工事とは、次の要件（延床面積、用途、工事種別）を全て満たす工事

- ・延床面積：1 棟当たり 3,700 m<sup>2</sup>以上（既存部分は含まない。）
- ・用途：建築基準法第 51 条に基づくと畜場
- ・工事種別：新築又は増築

(c) 同種・類似工事は元請として施工した実績を有すること。ただし、共同企業体の構成員としての施工実績は、出資比率が 20%以上の場合のものに限る。

(d) 同種工事に記載したものの中で、同種工事として認められない場合は、類似工事に該当する場合であっても類似工事の実績として評価しない。

(e) 過去 10 年間とは、平成 24 年度から技術提案書提出期限日までとする。

##### b 技術協力業務実績

過去 10 年間の技術協力業務の実績を下表により評価し、得点を算出する。

評価項目	評価基準	得点	配点
過去 10 年間の業務の実績	技術協力業務の実績がある	2.0 点	2.0 点
	上記以外	0.0 点	

(a) 技術協力業務とは、公共工事の品質確保の促進に関する法律(平成 17 年法律第 18 号)第 18 条に基づく「技術提案の審査及び価格等の交渉による方式」の技術提案・施工タイプの技術協力業務

(b) 技術協力業務の実績は受託者として実施した実績を有すること。ただし、共同企業体としての実績は、代表企業として実施した場合のものに限る。

(c) 過去 10 年間とは、平成 24 年度から技術提案書提出期限日までとする。

#### (2) ISO の認証取得

ISO の認証取得状況	ISO9001 及び ISO14001 の認証を取得済み	2.0 点	2.0 点
	ISO9001 又は ISO14001 の認証を取得済み	1.0 点	
	上記以外	0.0 点	

・企業の ISO の取組は、令和 3 年度末までに品質管理・環境マネジメントシステムの認証取得がある場合に評価する。認証の取得を証明できる書類で確認する。

#### (3) 管理技術者実績

##### a 工事实績

過去 10 年間の同種・類似工事の実績を下表により評価し、得点を算出する。

評価項目	評価基準	得点	配点
過去 10 年間の同種・類似工事の実績	同種工事の実績がある	4.0 点	4.0 点
	類似工事の実績がある	2.0 点	
	上記以外	0.0 点	

(a) 同種工事とは、次の要件（延床面積、用途、工事種別）を全て満たす工事

- ・延床面積：1 棟当たり 6,200 m<sup>2</sup>以上（既存部分は含まない。）
- ・用途：建築基準法（昭和 25 年法律第 201 号）第 51 条に基づくと畜場
- ・工事種別：新築又は増築

(b) 類似工事とは、次の要件（延床面積、用途、工事種別）を全て満たす工事

- ・延床面積：1 棟当たり 3,700 m<sup>2</sup>以上（既存部分は含まない。）
- ・用途：建築基準法第 51 条に基づくと畜場
- ・工事種別：新築又は増築

(c) 同種・類似工事は元請の主任（監理）技術者若しくは監理技術者補佐又は現場代理人として施工した実績を有すること。ただし、共同企業体の構成員としての施工実績は、出資比率が 20%以上の場合のものに限る。

(d) 過去 10 年間とは、平成 24 年度から技術提案書提出期限日までとする。

#### b 技術協力業務実績

過去 10 年間の技術協力業務の実績を下表により評価し、得点を算出する。

評価項目	評価基準	得点	配点
過去 10 年間の業務の実績	管理技術者として従事	2.0 点	2.0 点
	主任又は担当技術者として従事	1.0 点	
	上記以外	0.0 点	

(a) 技術協力業務とは、3 (1)b(a)と同様

(b) 過去 10 年間とは、平成 24 年度から技術提案書提出期限日までとする。

#### 4 技術提案評価

提出された技術提案書及びヒアリング内容を踏まえ、総合的に各項目を評価する。実施、実現可能な効果的かつ具体的な取り組みだと思われる提案を評価し、「優」「良」「可」「不可」の 4 段階評価で行う。1 項目につき複数案が提示された場合、すべての提案を総合的に判断し評価を行う。また、提案がない若しくは空欄の場合、評価は 0.0 点とする。

##### (1) 実施設計段階の実施方針に関する提案

###### a 業務実施方針、業務体制

評価基準	得点	配点
業務の理解度、実施手順、取組体制、特に重視する技術協力上の配慮事項について、総合的に判断する。	優/8.0	8.0 点
	良/4.0	
	可/2.0	
	不可/0.0	

##### (2) コストコントロールに関する提案

a コスト増加を抑制できるコストコントロール方法

評価基準	得点	配点
実施設計段階及び工事段階の各段階におけるコスト管理の方法について、総合的に判断する。	優/8.0 良/4.0 可/2.0 不可/0.0	8.0点

(3) 品質確保に関する提案

a 内部結露の防止など衛生管理された作業環境実現のための提案

評価基準	得点	配点
内部結露の防止など衛生管理された作業環境実現のための提案について、的確性、独創性、実現性を考慮して総合的に判断する。	優/4.0 良/2.0 可/1.0 不可/0.0	4.0点

b 食肉の品質を確保するために、施設内のコールドチェーン構築に関する提案

評価基準	得点	配点
食肉の品質を確保するために、施設内のコールドチェーン構築に関する提案について、的確性、独創性、実現性を考慮して総合的に判断する。	優/4.0 良/2.0 可/1.0 不可/0.0	4.0点

c その他自由提案（2項目まで）

評価基準	得点※	配点
品質確保に関する提案について、的確性、独創性、実現性を考慮して総合的に判断する。	優/4.0 良/2.0 可/1.0 不可/0.0	4.0点

※1項目あたりの得点を示す

(4) 長寿命化、維持管理に関する提案

a 建築及びプラント設備等<sup>※1</sup>の長寿命化への配慮に関する提案

評価基準	得点	配点
建築及びプラント設備等 <sup>※1</sup> などの長寿命化につながる提案について、的確性、独創性、実現性を考慮して総合的に判断する。	優/4.0 良/2.0 可/1.0 不可/0.0	4.0点

b 建築及びプラント設備等<sup>※1</sup>の維持管理コストの低減に関する提案

評価基準	得点	配点
建築及びプラント設備等 <sup>※1</sup> などの維持管理コストの低減につながる提案について、的確性、独創性、実現性を考慮して総合的に判断する。	優/4.0 良/2.0 可/1.0 不可/0.0	4.0点

(5) 単年度工事の分割方法に関する提案

a 建築及びプラント設備等<sup>\*1</sup>の年度毎の工事を考慮した分割方法の提案

評価基準	得点	配点
建築及びプラント設備等 <sup>*1</sup> の工事分割について、単年度工事の具体的な工程計画及び分割方法の提案について、的確性、独創性、実現性を考慮して総合的に判断する。	優/4.0 良/2.0 可/1.0 不可/0.0	4.0点

(6) 施工計画、安全対策に関する提案

a 設備の切り回し工事等の施工時における埋設配管等の破損防止への配慮

評価基準	得点	配点
埋設配管等の破損防止への配慮に関する提案について、的確性、独創性、実現性を考慮して総合的に判断する。	優/4.0 良/2.0 可/1.0 不可/0.0	4.0点

b 工事中の食肉センターの操業の継続に有効な仮設計画や安全対策等への配慮

評価基準	得点	配点
仮設計画や安全対策等への配慮に関する提案について、的確性、独創性、実現性を考慮して総合的に判断する。	優/4.0 良/2.0 可/1.0 不可/0.0	4.0点

(7) 周辺環境への配慮に関する提案

a 工事施工中の周辺に与える影響を緩和する提案

評価基準	得点	配点
工事施工中の周辺に与える影響への配慮に関する提案について、的確性、独創性、実現性を考慮して総合的に判断する。	優/4.0 良/2.0 可/1.0 不可/0.0	4.0点

5 価格評価

概算工事費見積書の積算方法やVE提案の内容について、選定委員会が質疑を行い、VE提案の内容について、施工の確実性、安全性、経済性（工事費の削減効果）等の視点で、採用可能（○）、条件付き採用可能（△）、不採用（×）を判定し、下記のとおり価格の評価を行う。

なお、積算の妥当性が認められない場合、又は技術提案が不採用になったことにより概算工事費が変更となる場合は、概算工事費見積書の修正を求める。

$$\text{価格評価点} = 30 - 30 \times (1 - \text{全参加者の最安VE提案採用後概算工事費} \div \text{VE提案採用後概算工事費}) \times 3$$

- ・価格評価点は小数点以下第二位を四捨五入し小数点以下第一位とする。